

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア

2013

11月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター

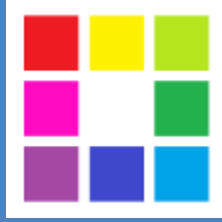


～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～山神社奉納演芸会実行委員会 ～(東山)
- 4 | 地域紹介～室根町 10 区自治会 ～(室根)
- 5 | 企業紹介～株式会社 菜花堂 ～(一関)
- 6 | 歩が行く～みちのくせんまや赤ちゃん相撲大会 ～(千厩)

# いちのせき市民活動センター

## 活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、  
行っている活動の御紹介をいたします。

### 講座紹介 団体運営のリスク管理講座



会場の様子

#### 危機への正しい対処法を学ぶ

9月28日(土)に、今年度第4回目となる講座「団体運営のリスク管理講座」を開催。講師には、盛岡市にあるNPO活動交流センターから久保協一さんをお招きし、16名の参加者を前に3時間に亘り講演。

NPOの基礎から始まり、起こりうる危機やそのリスクについて、発生する要因や判断基準を確認。また、過去に起きた危機対応の失敗事例を交えながら、正しい対処法を学んだ他、ハラスメントの種類や法概念、判断区分や予防策も教わりました。参加者からは、「自分の立場や今の状況を考えさせられた」「事例を交えた話がわかりやすかった」「個人情報取り扱い方の重要性を改めて痛感した」等の感想をいただきました。

### 協働への取り組み 大東摺沢地区自治会リーダー研修



会場の様子

#### 地域の連携強化と充実を目指す

7月の集中豪雨による大被害を受けた大東町摺沢地区では、地域における支え合いの大切さを再認識。また、自治会の役割について見直し地域の連携強化と充実を図るために摺沢地区自治公民館等連絡協議会との共催で、自治会リーダー研修会へ支え支えられる地域づくりを目指してを開催しました。

小野寺センター長が「住民自治と協働」を演題に講演したほか、事例発表として但馬崎町内会と松原自治会からそれぞれの会長が活動を紹介。講演後に行った質疑応答を始め、終了後も話題が広がり、参加した方からは「よかった」という意見が多数寄せられました。この講演を、協働体設立までの1つのステップにしていただけだと思います。

### 話し合い支援 おらほの明日を考える会



会場の様子

#### 若い世代の声を地域へ

小梨自治振興協議会主催の「おらほの明日を考える会」は、10月14日(土)に小梨公民館で行われました。小梨地区において、地域づくりの中心的役割を担う同協議会は、「役員だけでなく地域で話し合いたい」「若い世代の話を聞きたい」と、地域の小学生と保護者を対象にしたワークショップを開催。

参加者28名は4つのグループに分かれ、小学生は「地域での普段の生活」について、保護者は「子育てに関する悩み」をテーマに意見交換。地域の現状や特徴、過去と現在の変化等が見える化され、全体共有の場では、小学生ならではの目線から見た鋭い意見もありました。今回の意見を地域づくりに反映させ、話し合いを継続していきます。

# 山神社奉納演芸会実行委員会

## 団体 紹介



岩渕 松雄 さん

### ～基本情報～

- ◆実行委員長（平成 25 年度）  
：岩渕松雄 さん
- ◆〒029-0301  
東山町田河津字石ノ森 158 番地  
電話：0191-47-2857

## 住民力を結集した、1年に1度のゆかいな奉納演芸会

### 地域を守る山の神様

東山町田河津地区で、毎年旧暦の9月12日に開催される「山神社奉納演芸会」は、地域の守り神である山神社に、地域住民が演芸を奉納する伝統行事です。

この会を開催するため、毎年田河津地区の8名の自治会長や行政區長等が1年ずつ持ち回りで実行委員長を引き受け、今年が高金自治会長の岩渕松雄さんが担当。自治会長を務め今年で7年目になります。山神社奉納演芸会には以前から事務局や機械類の担当として携わってきました。

地域住民からは「村社」と呼ばれ、大昔から地域を見守ってきた山神社ですが、演芸を奉納する形になったのは約35年前。以前は外から業者を呼び、子ども達が神楽を披露する等の形で奉納を行っていました。が、途中から「地域の住民の力で、できることをやってみよう」と、地域住民総参加の素人演芸会を開催すると、お金も掛からず大いに盛り上がり、地域からの評判も大変良かったことから現在の形に変わりました。

### 笑いあり野次ありの素人演芸

山神社奉納演芸会が地域の伝統行事と言われる理由の1つは、開催準備から終了までが住民の手で行われるという点です。田河津地区の8名の自治会長が1年交代で実行委員長を務め、実行委員も自治会内の役員や団体で組織。自治会で用意できない音響や機械類は、竹沢地区にある実年会、こまち東風企画という部落グループが協力してくれています。

本番は、毎年28～32個の演芸がステージで披露されますが、出演するのは自治会内の住民の他、賛助・応援出演ということで、田河津に縁のある市民の方や遠方（静岡県、北海道）から参加。年齢は5歳～80歳代と幅広く、今年は総勢131名が演目を披露。開催案内が行き渡らなくとも、縁故縁者で東山町内外からも観客が大勢集まります。普段係りが少ない住民でも演目を見て名前や家を知り、お互いに交流のきっかけになることもあるそうです。

住民が創作した踊りや歌を見て、酔った観客が野次を飛ばすこともありますが、それもお祭りの醍醐味。子どもも高齢者も、同じ場所と同じ

楽しみを共有するのは地域において大切なことだと感じます。

田河津では、家族や親しい方が演目に出ると、御花（ご祝儀）をあげる習慣があり、市民は千円～三千元を任意で渡します。戴いた沢山の御花は、自治会で使う備品代等に充てられます。演芸を披露した住民の反省会では、再演や次回開催も話題になります。一部は社会福祉協議会東山支所へ復興支援として寄付されます。毎年、演芸を披露する方も見る方も楽しみにしている行事であり、「あそここの地区のお祭りは面白い！」と期待している方の想いにできるだけ応えたい」と岩渕さん。

「開催に関わる地域の方々に深く感謝します。1つの地域が同じ目的に向かい気持ちを一いつにして取り組むのは大変よいことです。これからも継続したい」と語る岩渕さんからは、地域を想い守りたいという強い意志を感じました。



10月6日に行われたリハーサル会場本番同様、演芸会が行われ、集まった多くの住民の目を楽しませました。

# 一関市室根町10区自治会

## 地域紹介



千葉勝昭さん

### ～基本情報～

- ◆会長：千葉勝昭さん
- ◆室根第10区自治会は、室根町の中心部に位置し、105世帯229人が暮らす利便性の高く暮らしやすい地域です。

## 初代会長の想いを受け継ぐ地域の誇り

### 「和」と「美」がモットー

昭和55年に設立した室根10区自治会は、室根町にある20区自治会の中で2番目に早く設立した自治会です。今年で設立33年目を迎える10区自治会、3期6年目になる千葉勝昭会長さんにお話を伺いました。

「自治会は、『和』と『美』をモットーに、和やかに美しく、皆で生きてまいりましょう」と千葉さん。「地域の方々と地域を訪れた方達にとつて心地よい環境を提供し、誇りや幸せを感じてもらえるような地域にしたい」というのは、初代会長から引き継いだ想いです。

自治会は5、6部の組織で構成。今年から、回覧板の配布や連絡事項通達の時間短縮・負担軽減のため、新たに7班の班編制を導入。これにより、よりよい効率を図ることができるようになりました。

### 我が誇りの施設「孝養ハイツ」

当地区には室根支所や医療の丘、各種体育施設等が集中し、大変利便性が良く、暮らしやすい地域である。特に特別養護老人ホーム孝養ハ

イツの施設と連携して、お祭りや避難訓練を実施。毎年の夏まつりは、入所者の皆さんが楽しみにしている行事で、焼き鳥などの出店が賑わいをみせています。

「出店は班ごとに出しており、中には車椅子を押しながら参加する方もおります。今年は盆踊りを開催する等、孝養ハイツは10区の誇れる施設でもあり、なくてはならない施設とも言えます。活動自体は他の自治会でも行っているかもしれないが、施設と連携することで地域住民と孝養ハイツの利用者との結束力がより深まる。自治会行事を通じて地域全体が繋がる、いい行事なんですよ」と誇らげな様子で千葉さんは語りました。

孝養ハイツは、現在100床。当初は、地元住民団体のあいあい会がお世話をしていましたが、一昨年から自治会の中に福祉部を設けて以来、福祉部が中心となって特別養護老人ホームのお世話をしています。

### 伝統歴史ある南流神社

南流神社は、気仙沼街道と呼ばれる国道284号線から南に400mほどの所に位置しています。室根神社より古く、1200年の歴史を

持つと言われる南流神社は、昔は南流山観音寺と呼ばれていました。皆鶴姫の守り本尊が祀られています。いいいます。収納庫に県指定有形文化財「聖観音像」が奉られています。

今年には室根大祭の開催年にあたり、折壁地区も一役担っています。養老2年（西暦718年）勸請東北名代荒祭と言われる、旧暦の閏年の翌年に開催される室根神社特別大祭。熊野神勸請にまつわる祭礼を再現するお祭りで、室根地区を中心に広域範囲で氏子や役割など、代々引き継がれています。大祭は3日間行われ、1日目には、折壁地区10区の間所が大祭の祭場の聖地になり、荒馬先陣など神役が参拝します。祭りの継承に地域一体となり盛り上がりを見せています。

少子高齢化で人口が減っていき、「若い奴らよ、頑張ってやれ!」と、地域の若者達へ激励を投げかける千葉さん。千葉さんの穏やかな笑顔からは、お祭りを通じて地域活性化を願い、地域の歴史の誇りを大事にしている想いが伝わってきました。



室根町10区自治会館の前で撮影した石碑です。

## 企業 紹介



企画開発部 課長 東海林明弘さん

### ～基本情報～

- ◆代表取締役社長 佐藤 弘さん
- ◆所在地  
〒021-0902 一関市萩荘字鍋倉 19-1
- ◆TEL : 0191-23-3105 / FAX : 0191-23-5217

## 地元経済の更なる活性化を目指し、 地域と共に喜びを感じあえる企業であるために。

### 満足・調和・解決を目指して

一関と宮城県を繋ぐ国道4号線沿いに事業所を構える株式会社菜花堂は、東京都の昭和産業株式会社を親会社にもち、平成11年に設立後、和洋菓子・パン・冷凍生地の製造販売を行ってきました。

原材料は親会社の物流部門から仕入れるほか、地産地消に関しては各県の学校給食会を通じて全国から広く取り寄せ、製造された製品は問屋を通じて全国の学校給食や病院食、機内食等に使われます。

当社では、満足・調和・解決の3つを企業方針に掲げており、顧客満足、従業員満足が最大の喜びであり、この喜びを得るために、地域社会と調和し、共に課題解決に努めることが使命であるとしています。例えば、地域から商品開発の相談を受ければ、できる限り要望に応えるよう努めており、過去にいくつもの新製品を世に送り出してきました。

取材を受けていただいた東海林さんは、「地域の企業として、先頭を切った地域貢献活動に関わりたい」と話し、「佐藤代表が地域奉仕活動に対して寛大だから、自分が多くの地域活動に携われている」と感謝の気持ちを述べました。

### 地域と繋がる「青空販売」

同社の一部商品はインターネット通販サイト「さんちよくどっとこむ」や、店頭直売「青空販売」で購入できます。青空販売は、東日本大震災発生時、社内にある在庫商品を地域の方に提供しようと、臨時で開いたのが始まりです。当初20日間ほど毎日、長机の上に袋詰めのお菓子やパンを陳列、手作り広告で商品を販売しました。ツイッターを通じた地域への情報発信は企画開発部の鈴木さんの提案で、ライフラインが止まり、食料の供給が滞る中、青空販売は地域住民の生活を繋ぐ大きな役割を果たしました。

その後も、青空販売は春と秋にかけ毎月第四土曜日の10時～15時に開催。市外から足を運ぶ方や常連の方もおり、準備中の段階で購入しにくる方も多いそう。お客さんから「先月買ったお菓子をまた買いに来たよ」と言われても、店頭に並ぶ品は毎月在庫状況によりさまざま。その月限定であるパターンもあります。商品は6～8個入りで200～300円と手ごろで、レジ袋1つ分を購入しても、合計金額は1000円ほど。青空販売は、菜花堂と地域住民を繋ぐ架け橋にもなっています。

また、東海林さんはご当地もちサミットの実行委員会にも所属。市内の餅関係の団体で組織される「一関もち食推進会議」で立案されたこのイベントは、昨年度の第1回目、中東北のご当地もちサミットとして東北地方を中心としたもち料理が一度に味わえるとあり、たくさんの方が来場。2回目となる今年は、中東北から全国に規模を拡大し、2日間で3万食の販売を目指します。「一関にお金を落としてもらい、地元経済を活性化させたい」と東海林さん。

この他、労働基準協会や食品衛生協会の会員としての取り組みの他、地域行事への参加も行っています。今年開催の第32回一関国際ハーフラソン大会には、役員自らが率先して出場する等の活動も行いました。

最近、ご当地キャラクター東北ずん子が目印の、もち御膳を販売してくれる一関のお店を探しています。「青空販売に来てネ!」と呼びかける東海林さん。今年最後の11月16日の青空販売では、笑顔でみなさんの来場をお待ちしております。



～青空販売の様子～  
赤いテントが目印です

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

# 歩 が 行 く

◆一関市千厩町の赤ちゃん相撲でスタッフが親方になりました。◆



①第11回赤ちゃん相撲大会は一関市内からはもちろんのこと、盛岡や沿岸部、遠くは東京から参加があり、申込み人数は298名と過去最多でした。当日の会場は、子どもの晴れ姿をカメラに収める家族で賑わっていました。

②千厩町の守り神とされる。愛宕神社は、一関市千厩町千厩町浦にあります。愛宕花相撲は、大正初期に初午や祭りの出し物として始めた女相撲が始まりとなっています。

③行司と親方役のみなさんが勢ぞろい。実はこの中に当センタースタッフが2名おります。

④親方に抱っこされた豆力士さん。「どっこいどっこい どっこいな」の合図で取り組みが行われますが、親方に抱っこされている時点で泣き出す赤ちゃんも・・・事務局のアナウンスでは、勝っても負けても保護者の気持ちを考えてコメントを心がけているとのことで、会場もほっこり温まります。

⑤取組後の記念撮影。横綱とパチリ♪

⑥こちらは花相撲の土俵入り。きれいな着物を着た女性の方々が堂々と土俵入りし観客を魅了しています。

## 地域に親しまれる子育て地蔵

idea 10月号の団体ページでご紹介させていただいた「愛宕花相撲保存会」主催の「みちのくせんまや赤ちゃん相撲大会」は、10月13日に同町の愛宕神社神楽殿にて開催されました。

当日の天候は晴れ空だったものの、一日を通して風が強く相撲を一時中断する場面もありましたが、親子連れで賑わい、子どもの健やかな成長を願って、皆さんの笑顔が交わされた日となりました。愛宕神社と花相撲の歴史に関しては前号でご紹介させていただきましたとおりですが、愛宕神社のすぐわきには、県道松川線に面して子育て地蔵(夜泣き地蔵)が立っているのをご存知でしたでしょうか？

昔から子どもの夜泣きを引き受けて下さると言い伝えられ親しまれてきた子育て地蔵は、お盆の13日に各家庭で作られたお団子をお供えし、食べると御加護があると言い伝えられて、現在もお盆の夜は赤提灯を灯す人、衣やよだれ掛けを新調してあげる人などで賑わうとのことです。

さて、「みちのくせんまや赤ちゃん相撲大会」は今回で11回目を迎えたとのことで、主催者代表の片岡さんは「事故もなく無事に終了したことは地域の皆様のご協力があつたからこそ」と、感謝の言葉を述べ、来年の開催に向けて決意を新たにしていました。

## 私の娘たちの名前も読み難いですが・・・

当日配布された次第には赤ちゃん相撲の取り組み表(赤ちゃんのお名前)が掲載されていました。なかなか、ハイカラなお名前や、個性あふれる名前に目を丸くしてしまった私なのでした・・・

# イ ベ ン ト



# ボ ラ ン テ イ ア



# 情 報 コ ー ナ ー

## 「雨ニモマケズ」朗読会

in ひがしやま

石と賢治のミュージアムでは、東山文化祭・東北文化の日イベントとして「雨ニモマケズ」朗読会を下記の日程で開催します。11月2日・3日は入館料無料。方言や英語で様々なパフォーマンスします。ぜひ、みなさままでお楽しみ下さい。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月3日(日)

午前10時～正午

【場所】石と賢治のミュージアム・風のホール

【料金】11月2日・3日入館料無料

【問合せ】石と賢治のミュージアム

【電話】0191-47-3655

## むかさり行列

古代ゆかしき花嫁道中を豪華絢爛に再現する巖美地域活性化推進協議会・巖美公民館主催のむかさり行列。当日は、長持ち唄で花嫁行列を行い、巖美公民館に到着後は、「もちまき」、「三三九度」、「祝宴のうたや踊り」の披露があります。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月4日(月)

午前11時～ 一関市博物館広場出発

【場所】一関市博物館～巖美公民館

【料金】見学無料

【問合せ】巖美公民館

【電話】0191-29-2205

## いわい・シニアわくわくサロン

シニアのみなさん！あなたの知識・技術は地域の宝です。あなたの力を地域に生かしてみませんか？地域では、あなたの出番を待っています。元気で意欲のある55歳以上の男女の参加を待ちしております。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月12日・26日(火)

午後1時～午後3時半

【場所】一関市シニア活動プラザ 交流室1(なのはなプラザ3階)

【料金】参加無料

【問合せ】NPO法人いわての保健福祉支援研究会

【電話】019-606-1774

## きれいになるヨガ

NPO法人ファンスポルト一関ソーシャル・リレーション事業部では、初心者でも楽しめるヨガ講座を開催します。定員は20名程度で、対象は独身の男女。参加ご希望の方は11月8日(金)までに電話・FAX・メールにてお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月12日(火)

午後7時～午後8時半(受付午後6時半～)

【場所】一関文化センター

【料金】参加無料

【問合せ】NPO法人ファンスポルト一関ソーシャル・リレーション事業部

【電話】0191-48-4677(FAX0191-48-4678)

## オープン講座のお知らせ

NPO法人アートで明るく生きるかわさきでは、障がいのある方の仲間づくり、だれでも気軽に集える場づくりとして簡単な体験講座とお茶会を開催しています。11月は「冬ごもり対策・食べて元気に春を迎えよう」講座です。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月15日(金)

午前9時半～午前11時半

【場所】地域活動支援センター工房てんと虫作業スペース

【料金】お茶代100円

【問合せ】NPO法人アートで明るく生きるかわさき

【電話】0191-43-4733

## 女性限定美しいウォーキング講座

姿勢や歩き方を変え、第一印象美人に生まれ変わりますか？コンプレックスの解消とあなたの魅力を引き出します。定員は10名程度で対象は独身女性。参加ご希望の方は11月22日(金)までに電話・FAX・メールにてお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月30日(土)

午前10時半～正午

【場所】ユードーム 選手控室

【料金】参加無料

【問合せ】NPO法人ファンスポルト一関ソーシャル・リレーション事業部

【電話】0191-48-4677(FAX0191-48-4678)

## 凧ちゃん馬車 おひろめイベント

佐々木牧場パカボクラブでは今年の4月に青森県黒石市からやってきたお馬の凧ちゃんによる乗合馬車のおひろめイベントを開催します。馬車の乗車体験だけでなく、乗馬体験や餌やり体験なども同時開催します。

\*\*\*\*\*

【日時】平成25年11月24日(日)

午前10時半～午後3時半(予定)

【場所】佐々木牧場(花泉町金沢字有壁沢13-1)

【料金】乳幼児100円～(体験内容、年齢によって異なります)

【詳細】佐々木牧場ブログ・HPにて

【電話】0191-82-5584

## いちのせき市民活動センターからのお知らせ

### みちのくワークショップフォーラム参加受付中！！

昨年にも参加されたみなさまから大変ご好評を頂きました、「みちのくワークショップフォーラム」。今年も各分野で活躍している講師が一関市に大集合です！！ぜひこの機会に、まちづくりの場面はもちろん、教育や環境、福祉や防災、そして自己啓発など実務的な手法を身につけてみてはいかがでしょうか？

■開催日時■ 平成25年11月16日(土) 午前9時から午後6時まで

■開催場所■ なのはなプラザ3階(一関市大町4-29)

■定員■ 1ワーク20名程度

■参加費■ 無料

■参加申込期限■ 平成25年11月5日(火)

■問い合わせ先■ 主催 いちのせき市民活動センター

TEL0191-26-6400/FAX0191-26-6415/E-mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp



# いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29  
なのはなプラザ4F  
電話：0191-26-6400  
FAX：0191-26-6415  
営業時間：朝9時～夜6時  
休館日：日・祝  
スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

# せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149  
電話：0191-48-3735  
FAX：0191-48-3736  
営業時間：朝9時～夜6時  
休館日：日・祝  
スタッフ：3名



メール：[center-i@tempo.ocn.ne.jp](mailto:center-i@tempo.ocn.ne.jp)

## FMあすも

小野寺センター長出演の、「人育て地域育てのコーナー」  
(毎週水曜日、11時半～)の一部を紹介します。

### ◆10月9日放送「一関市のもち文化」

最近、一関の餅文化を広げようとさまざまな行事が開催されていますね。餅は日本全国にありますが、一関の餅文化の特徴は200を超えるタレの種類の多さです。

昔、立派なお米を年貢として納め、手元に残ったくず米をおいしく食べさせたいというおもてなしの想いから、タレの種類が増えたと言われていました。一関の餅文化の起源は、先人達の知恵の結晶だったんですね。



## お知らせ

### ◆センター長交代のお知らせ

10月1日付で、いちのせき市民活動センター長に前副センター長小野寺浩樹が就任いたしました。

一関市における市民活動の発展並びに当センターの発展に力の限り努力をいたす所存でございますので、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、前センター長小野仁志は、アドバイザーとして、市民活動支援に携わって参ります。センター長在任中は公私共に格別のご懇情を賜り、ここに謹んで厚く御礼申し上げます。

## 11月のまちのお知らせ

1	いちのせき元気な地域づくり事業「創作教室」(川崎)	16	いわい地方美術展～17日まで(東山)
2	市内各地区文化祭～4日まで(各地域)	17	第51回奥玉地区民芸大会(千厩)
3		18	
4		19	
5		20	
6	らくらくスポーツ教室(藤沢)	21	
7		22	
8		23	第18回女性フォーラム(大東)
9	図書館おはなし会(千厩) いちのせき元気な地域づくり事業「砂鉄川桜ロード事業」(川崎)	24	第10回いわい地方民族芸能祭(川崎)
10	マーチング&コンサート(藤沢) 大東町芸術祭舞台部門発表会(大東) 第35回小梨地区民祭(千厩) 第37回狐禅寺地区産業文化まつり(一関)	25	
11		26	てんとう虫教室「調理実習・アート交流(遊書)」(川崎)
12	てんとう虫教室「調理実習・アート交流(絵画)」(川崎)	27	
13	らくらくスポーツ教室(藤沢) みんなの居場所づくり事業交流会「音楽療法で交流♪」(川崎)	28	図書館映画会(藤沢)
14		29	
15	みんなの居場所づくり事業「オープン講座」(川崎)	30	第36回芸能チャリティーショー(藤沢)

## 今月の表紙



この写真は、東山町田河津地区にある観林寺の敷地内で撮影しました。お地藏様の前の道を進むと、樹齢400年の桜の木と釣鐘、本堂があります。

## 編集後記

せんまやサテライトのある、千厩町の本町通りでは10月19日(土)に千厩きもの物語が開催されました。普段、着る機会のない着物。当日スタッフも着物姿で参加させていただきました。



あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。

Q1 NPO法人って、特定非営利なのに利益があっていいの？

A1 はい。「非営利」とは、団体の構成員に収益を分配せず、主たる事業活動に充てることを意味しており、収益を上げることに制限するものではありません。